

花ノ木遺跡・中街道遺跡 発掘通信 No.3

10月末、花ノ木遺跡の発掘調査が完了しました。

都市計画道路 北島藤島線新設工事にとまない、遺跡の発掘調査がはじまって1ヶ月あまりが過ぎました。最初に着手した、花ノ木遺跡の調査は10月末に無事終了。

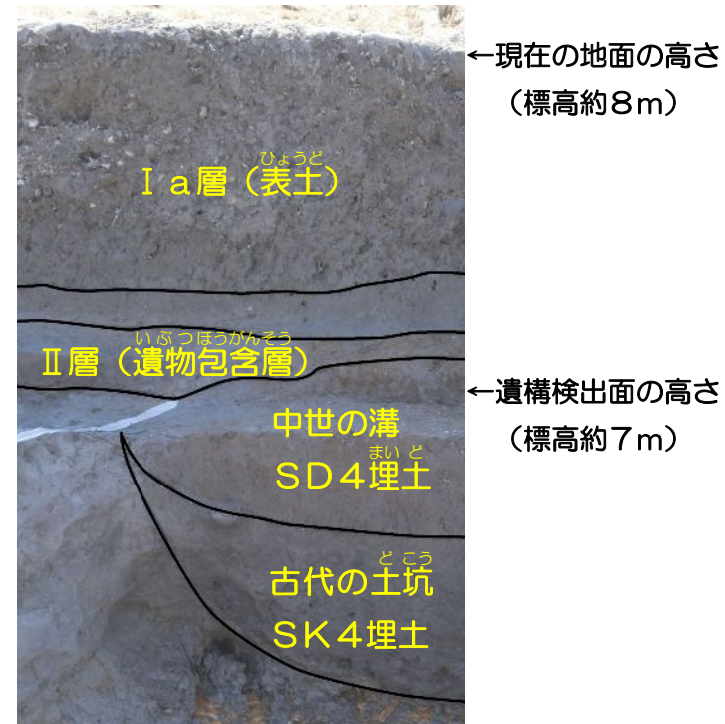
前年度の試掘結果から予測されたように、主に古代（奈良・平安時代）～中世（鎌倉時代）にかけての遺構・遺物が見つかりました。

遺構は、溝類（SD）が多く、他に土坑（SK）や柱穴（SP）も少数見つかりました。東西・南北の溝に囲まれた範囲には、当時の生活空間があった可能性があります。

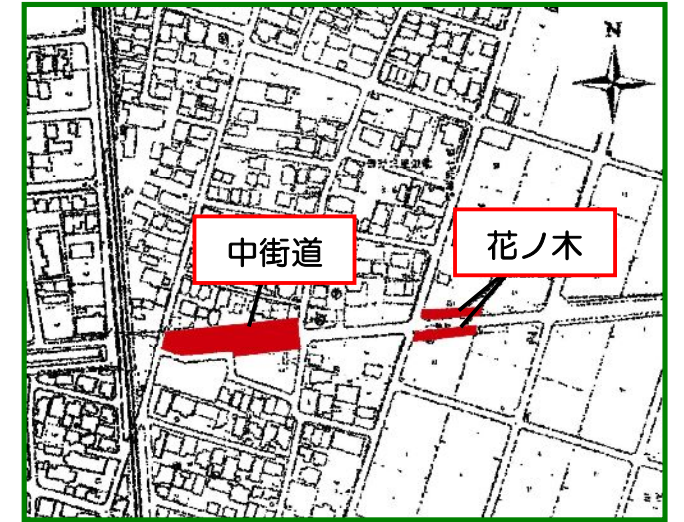
遺物は、古代（奈良・平安時代）の須恵器・灰釉陶器・白磁や、中世（鎌倉時代）の山茶碗などが遺構の内外から出土しています。完形に近いものや大型破片が少なからず見られ、廃棄の状況もうかがわれることから、遺跡周辺でこれらの焼き物が使われていたものと考えられます。



花ノ木遺跡の全景と主な遺構



花ノ木遺跡の土層断面
(B地区)



遺跡の位置



SD4内 山茶碗出土状況 (B地区)



SD3内 白磁出土状況 (A地区)



SD6内 遺物出土状況 (B地区)

そして現在、中街道遺跡の発掘調査中です。

花ノ木遺跡に引き続き、10月下旬から中街道遺跡の発掘調査を開始しました。中街道遺跡は、前年度の試掘結果に基づき、上層・下層の二面を調査する予定です。すでに西側半分の上層調査は終了し、現在東側半分の上層調査に移行中です。

埋蔵文化財保護の観点から、安全かつ迅速に調査をおこないますので、ご理解のほど何卒宜しくお願い申し上げます。